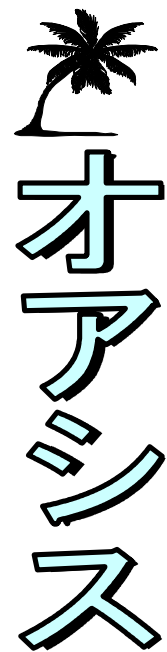


日本は高失業社会！？

日立AP清水事業所
と関連会社で働く
人のネットワーク



2012年9月
No. 4 8

発行：オアシス
編集委員会
連絡先：多田義幸
TEL
090-9121-0602

● 広義の失業率では

日本の失業率は、5%前後で、ヨーロッパやアメリカに比べると低いと言われています。しかし、潜在的失業や半失業も含めた「広義の失業」を見ると、ヨーロッパ平均とほぼ同じになります。(月間「全労連」No. 187「青年雇用の状態悪化の背景と高失業社会」後藤道夫)

● 若年層は欧米型の失業

下表に、若年層の現在の広義失業を推計したものを示します。15〜24歳の失業率、広義失業率は、ともに大変高く、欧米型の失業構造になっていることがわかります。広義失業率では4人に1人が失業していることとなります。

● 失業時保障が貧弱

日本は失業率そのものは低いけれど、広義失業が多いのが特徴です。その理由は、失業時の保障が貧弱だということにあります。失業時保障が弱いと、失業して暮らせない人が多く、意に沿わない悪条件の仕事に就きながら、よりましな仕事を希望し続ける「半失業」状態に移行せざるを得ません。

● きちんと保障された失業

ヨーロッパ並みに失業時の保障

を本格的に整備する必要があります。雇用保険については、給付期間の延長や給付額の引き上げ、さらに雇用保険の対象にならない失業者のための失業扶助制度を新設することが必要です。生活費を出しながら、公的な職業訓練を行なう体制も作る必要があります。

若年層の広義失業率

(対労働力比 2012年1月～3月平均)

単位 %

	15～24歳 卒業		25～34歳		全年齢(在学含む)	
	男	女	男	女	男	女
半失業率	10.2	12.1	8.0	6.9	5.6	6.7
潜在的失業率	1.1	1.1	0.4	1.3	0.6	2.2
失業率	12.4	10.4	5.9	5.4	4.8	4.2
計	23.7	23.6	14.4	13.6	11.1	13.1

注) 半失業……転職希望or追加就業希望・求職中

潜在的失業……無業・就業希望・調査期間中非求職・「適当な仕事がありそうにない」

・過去一年間に求職活動有り

出所) 労働力調査詳細集計より作成(後藤道夫: 都留文科大学教授)